

これは、対馬にも、植物、昆虫に著名な方々がおられますよね。それで、いろいろトラブった過去もあろうかと思えますけども、しかし守るべきは何なのかは、そういった専門の方々が実在されているわけですから、そういった人たちを少し組織の中に呼び込んで知恵をかりる。

協働隊の方が来られてやられるのは当然いいですよ。それはそれでやっていただければ結構ですけども、動物も植物もおられるじゃないですか、専門家の人たちが。自負されている方々がおられるので、そういった人たちの力をぜひ借りられて、保護していくという形で長い目で見ていかないと、つぶれた、もうやめましたでは、これはちょっと対馬のよさを半減させる。

私は、動物とか植物とか昆虫のおかげで、対馬は今から世界に発信できると考えている1人ですから、そこら辺もよろしく願いいたします。

時間になりましたので、これで終わります。よろしく願いします。

○議長（小川 廣康君） これで、長郷泰二君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 昼食休憩といたします。再開は午後1時ちょうどといたします。暫時休憩します。

午前11時41分休憩

午後1時00分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

午前に引き続き、市政一般質問を行います。6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） こんにちは。6月議会も3番でしたけども、また今度も3番で、お昼の眠たい時期に入りますけども、一生懸命発言したいと思っておりますので、いい回答をしてください。よろしく願いいたします。

まず第1に、交流人口の増加について、税金はどのくらいあるかということで、市の収益はどのくらい見込まれているのでしょうか、伺いたいと思います。

2番目に、金石川の清掃についてですけれども、雑草が水の流れも見えないくらいに密集して生えています。早急に清掃して、清らかな流れを取り戻すべきだと思いますが、いかがでしょうか。

3番目に、少年の主張大会についてでございますが、大人も含め、生徒の傍聴者が非常に少ない。この現状を把握されているのか、把握されていたら、その対策を教えてください。

以上3点、きょうはお伺いします。

第1番目の交流人口の増加に伴う税金について伺います。

韓国から観光客が、年を経るごとに町の中がにぎやかになっております。このことは、島民と

して大変うれしいことです。その反面、市民の目から見たら、メリット、デメリットがあることも事実です。一般市民は、韓国人のマナーの悪さ、余りよい印象を持っていない人も少なくありません。

そんな中で、今年29年の観光客は、昨年6月と今年6月の来客数を比較すると、この時点で既に去年よりも153.7%の増となっております。このまま推移していくと、29年は40万人を超えるのではないかとも言われております。

市長さんを初め関係者は来客数のみを強調されますが、私たち市民は究極的には経済効果だと思っております。また、市民もどのくらいの税収が上がっているのか、一番知りたいことだと思います。

このごろは、市民の皆様はケーブルテレビで議会の様子をよく見られておりますので、市民の皆様のご不満を払拭するためにも、わかりやすく、また丁寧に説明をしてください。よろしくお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 吉見議員の御質問にお答えいたします。

初めに、交流人口の増加に伴う税収についてでございますが、交流人口、特に韓国人観光客数は、平成28年度は約26万人、平成29年度はそれ以上が見込まれ、年々増加しているところでございます。そのため、市内の至るところで、韓国人観光客と思われる方々を見かけるところでございます。

交流人口の増加による本市の税収に影響のある税目は、市民税及び入湯税などと思われまます。御質問の税収の中で、交流人口の増加による市の収益はどのくらい見込まれるかにつきまして、結論から申しますと、推測は困難な状況でございます。

なぜ、推測が困難なのかにつきましては、市民税は納税者の申告に基づき課税となりますが、納税者の1年間の収入から経費を差し引いて所得額を算出し、その所得額から各種控除を行った額に税率を掛けて税額が算定されます。

この1年間の収入は、例えば漁業従事者の場合、これはイカの水揚げ分、これはブリの水揚げ分など、魚種ごとに収入を計上するのではなく、1年間の全ての水揚げの額を収入額として計上します。その収入額から必要経費を差引いた額が所得額になります。

これは、最近、韓国人観光客の利用の多いスーパーマーケットの場合も同様です。収入を日本人客分、韓国人客分に分ける必要はなく、全体の売上額を収入額として申告するので、交流人口の増に伴う税収への影響を推測することが困難だということになります。

また、入湯税につきましても同様に、申告には日本人、韓国人の別はなく、課税対象の客数と、中学生以下及び70歳以上の方の課税免除数の申告であるため、影響額は推測困難ということに

なります。

以上、税収への影響には直接結びつけることは困難ですが、御存じのとおり、交流人口の増加とともに、市内に宿泊施設、貸切バス業者、レンタカー業者、飲食店及びお土産品が増えていることは、交流人口増がこれらの観光関係業種の活性化の要因、効果ではないかと考えられます。

また、韓国人観光客を対象にした経済効果を分析したものがございますので、そちらのほうで説明をさせていただきます。

調査・分析をしたものは平成24年のデータで、この年に約15万人の韓国人観光客が対馬に来島いただいております。この年の島内での観光消費額は約33億3,000万円で、その内容は、交通費に2億3,000万円、宿泊費に3億9,000万円、飲食・娯楽に5億9,600万円、土産品等に21億1,500万円となっており、別の言い方をいたしますと、525人の方の働く機会ができたという分析結果が出ております。

昨年、韓国人観光客数は約26万人で、ことしは昨年同時期に対し約150%の伸びで推移しております。この率で年末まで行きますと、年間の韓国人観光客数は約39万人となり、平成24年の分析データをもとに単純計算いたしますと、約80億円を超えるような観光消費額になると推測されるところであります。

次に、2点目の金石川の清掃についてでございますが、金石川は万松院から市役所に接続する市道今屋敷万松院線と並走し、厳原港に流入する普通河川であります。また、本河川が流れる万松院一帯は、櫓門、万松院など、城下町をイメージさせる静寂な雰囲気を持つゾーンとして、多くの観光客が訪れる場所でもあります。

議員御指摘の金石川の清掃でございますが、毎年1回、ボランティアの方々を含め、石垣と河川の除草を実施しておりますが、川底の水草の除去までには至っていないのが実情でございます。

私も現地を確認いたしました。雑草と水草の一種であるセキショウが大きく根を張り、川の流れを阻害し、水がよどんでいる箇所もところどころ見受けられました。

今後の対策としましては、河床の雑草を除去したいと考えておりますが、セキショウにつきましても水の浄化作用があるとされていることから、密集している部分を一部間引きすることにより、昆虫等の小動物の保護と自然環境の保全も考慮し、清流を確保したいというふうを考えております。

前段でも述べましたように、万松院一帯は城下町をイメージさせる重要なゾーンの1つでございます。今後におきましても、地域の皆様の御協力を得ながら、施設の管理に努めてまいりたいと思っておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 吉見議員の3件目の御質問にお答えします。

対馬市少年の主張大会は、長崎県青少年育成県民会議が主催します少年の主張長崎県大会の予選大会として実施されております。議員も御承知のとおり、少年の主張大会は、中学生が日ごろ生活の中で感じていること、考えていること、また社会に対する希望や未来への提言、夢などを少年の主張として発表し、同世代の少年の意識を高めるとともに、少年に対する地域社会の理解を促すことなどを目的に開催されているものです。

各町におきましては、それぞれ予選会として、小学生、中学生の主張大会が行われております。対馬市の大会におきましては、県の予選会となります中学生の大会として、毎年2月の第3日曜日に実施をしておりますが、御指摘のとおり、会場に来ていただける方々が少なく、28年度実績は167名の来場者でした。

しかしながら、各町ごとに予選会等が実施され、28年度実績におきましては、市の大会を含め、合計で1,000人近い聴講者の方々が来場されております。

また、市の大会は、対馬市CATVにおきまして、それぞれ発表が後日放映されており、御家庭でも子供たちの発表が見れる状況下にあります。

だからといいまして、会場来場者が少ないままでいいわけではなく、事務局としましても、対馬市CATVや市の広報を活用しての周知、社会教育関係委員のほか校長会や教頭会での周知、また主任児童委員、保護司会等へも案内を差し上げ、1人でも多くの方に聴講いただけるよう努めているところでございます。

今後におきましても、主催する対馬市青少年健全育成連絡協議会を中心に、関係団体等の協力を促しながら、来場者の増加に努めてまいりたいと存じます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） ありがとうございます。

市民税についてちょっとお尋ねしますが、今、答弁がありましたように、それだけの収入というのはなかなか難しいということでございます。それは私ももちろんわかるんですけども、私は私なりに調べてみましたが、市民税がずっと増えているんですね。24年度から調べてみました。

市民税というのは、私たちの源泉徴収も含めて、市民の方が納める税金だと思うんですけども、その中で観光客の方が増えるから収入も増えているんですけども、それがそういう理由でないのかももちろんわかりませんが、その比較をしたときに、結局は前年比に比べて、今年度は全部含めましたら1億4,224万5,052円ということに私の調べではなっているんです。

それで、毎年、決算金額が出ると思うんですけども、出たときに、これは何の分かな、どうかなという分析をされているんじゃないかなと思うんですけども、分析をされていなければま

た問題だし、分析をされて、収益は分析の結果どのようになったのか、教えていただきたいと思っています。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） この件につきましては、担当部長のほうにお答えさせます。

○議長（小川 廣康君） 市民生活部長、根メ英夫君。

○市民生活部長（根メ 英夫君） 失礼します。住民税の予算というところの部分で分析というのは図るわけですが、それについては前年度の申告額に対して、どれぐらいの観光産業の部分でどれだけの雇用があったかというところの部分、事業所の申告のほうからの算定をもとにして効果を予算を上げるわけですが、昨年、議員さんがおっしゃった住民税の伸びのところなんですけれども、市民税につきましては27年から28年度の比較は約5%の増というところで、金額としては6,000万円ぐらいの増ということになっております。

これについては、韓国からのお客様の増というのを見込んで、この分は調定というか、予算化をしている状況でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 今、言われましたように、27年と28年を比較しますと、28年の収入が6,219万8,868円となっているんですが、分析は今何と言われましたかね。分析をされている要素、大体こんなふうじゃなかろうかということが考えられるという主なもので結構ですから、教えてください。

それと、もう一つは、入湯税も関係するのではないかなと思っております。入湯税も増えております。これもやっぱり観光客の関係があるのかなと私は思うんですが、というのは、今、対馬の人口は年々減ってきておりますのに、観光客の方が増えてきている。対馬の人口は減っている、対馬の人がお風呂に入るのが少なくなっていると思うんですね。その差があると思うんですよ。

韓国人は増えた、対馬人は人口的に少なくなった、だけど入湯税は増えている。これはやはり韓国の方々のお客様の入湯税が入っているんじゃないかなと、私は素直に考えるんですね。

だから、市民が常に、冒頭にも言いましたように、不満もある方が大いにおられます。私も、その都度、言うんです。そんな言わんとよと、市にお金が落ちるちゃけんと言って、いつもそんなふうにいるんですね。

そういう意味で、市民の方によくわかるように、お願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市民生活部長、根メ英夫君。

○市民生活部長（根メ 英夫君） 説明が不十分でございました。

まず、住民税の額については、新たに事業所としてなったところ、観光産業ばかりじゃなくて、ほかの創業支援とかででき上がった事業所も含めて、そういうところは特別徴収の事業所という

ところで登録をしていくわけですね。そうすると、年々増えてきていますので、その分についての計上をしていくということで、増額になっているということになります。

個人でお払いするところについては、漁業従事者だとか、個人の商店主というのがあるんですけども、今増えてきているのはホテルだとかお土産品店だとか、そういうところの部分でありますので、特別徴収の事業所というのが多うございます。

特別徴収というのは、給与の中から税金、住民税を引いて、毎月、対馬市のほうに納入いただくというような事業所でございます。そういうところの増を踏まえた上で、約5%増というところで調定のほうをさせていただいているというところでございます。

それと、入湯税につきましては、28年度は逆に減っているんです、実際のところはですね。これというのは、中学生以下と70歳以上の減免の方の利用というのが多くなったというところで、利用客数というのは余り変わらないんですけども、これについては韓国の方の利用というのは多くなってきているとは思いますが、実際の税額としては反映ができていないというところで、今、こちらのほうでは分析はさせていただいている状況でございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 入湯税、確かに28年度はちょっと減っておりますけども、24年度からトータルすると、約180万ぐらい増えております。それで、何度も質問するようですけども、大体このくらいの見込みということはできないんですか。あんなにたくさん来てある中で、そのような試算は、見込みですよ、このくらいじゃなかろうかという試算はできないものですかね。市民は本今年度は40万になるらしい云々、町はいっぱい歩いておられますけど、それで市民は納得するのかな。

それとまた、もう一つは、国際ターミナルの使用料ですけども、これも入関税というんですか、ターミナル使用料というんでしょうか、これも厳原港と比田勝港に入るものですから、これを計算しますと、全てずっとプラスです。そして、厳原での使用料が7,618万6,000円ちょっと、そして比田勝港は船が何便も入る関係で1億3,172万云々ぐらいです。合わせますと、出国者も多いんですけども、使用料が2億790万7,000円ぐらいですね。全ての施設で料金が収入が増えているわけですね。

そういう関係からも、観光客によるこれほどのくらいの見込みですよということを言われないと、市民は漠然としたことで、ほうと思いませんか。大体でいいんですよ、難しいでしょうけど、このくらいは収入が上がっているんじゃないかと、さっき言われましたバス代とかなんとかかとか、交通費、宿泊費、飲食代云々が経済効果だと言われますけど、これが実際数字であらわれないと寂しいものですね。よろしく願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 確かに、韓国人観光客の増加によって、税金もどれだけ伸びたということができれば、これは本当に楽なんですけども、それはなかなか難しいということで、我々といったしましては、平成24年度でございましたけども、観光消費額といったデータがございますので、このデータによりますと、例えば平成29年度は約39万人、40万人近くのお客様が来れば、80億円超えるほどの効果がありますよと、その効果によって税金もその分増えていきますよというようなことで説明をしたほうがいいのかなというふうに考えているところでございますし、平成24年の調査でございますので、またこのデータにつきましても改めて調査もせんばいかんねというようなことは担当部のほうとも協議を進めているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 今、市長が言われました、24年の韓国人観光客数の関係で言われました。私もその資料を持っておりますけれども、これは今言われたように24年の資料ですから、今現在28年の資料も出してもらいたいかなと思いますので、よろしくお願いたします。

この関係は、これで一応終わりたいと思います。ありがとうございました。

次にですが、少年の主張大会ですが、厳原町の少年主張大会は生徒の傍聴者が少なく、非常に残念に思っております。それに比べて、ここ二、三年前から大人の傍聴者がすごく多く、交流センターのイベントホール、会場の2階後部座席はほぼ満席になっております。

それというのも、厳原町の青少年育成協議会会長の杉本美津廣会長の努力があったからだ、私は思っております。その努力というのは、各団体に青少年主張大会の案内状と動員の要請を毎年されているからです。その要請に各団体の皆様が同調されたからだと思っています。

各団体の名前を紹介してみますと、老人クラブ、退職校長会、民生委員、そして厳原町女性団体、各団体7団体に案内を出されております。厳原町の女性団体の7つというのを紹介しますと、商工会女性部、食生活改善連絡協議会、更正保護女性部、対馬市母子保健推進委員、退職公務員連盟対馬支部女性部、そして婦人会、そして民生児童委員女性部の7つになっております。

何事もそうですけれども、新聞折り込みチラシをしました、町内放送で放送しました。これだけしたって、集まるわけがないじゃないですか。いつもそれは、私がもし何かあったときはその方たちにはよく言うんですけど、それだったら誰でもしきることであって、だからこんなふうに杉本会長も一生懸命、毎年出されて、積み積みこのような状態ができたと思っておりますので。

そしてまた、主張大会が終わって、皆さんすごく感想はよく、感動したよ、子どもの思っていることがよくわかったよとかいう、ありがたいお言葉をいただいております。

私ごとですけれども、私も10年前ぐらいから、厳原町の婦人会の会長をしております関係から、審査員をさせていただいております。その関係で、毎年、生徒の傍聴者が少ないなど、いつ

も残念に思っておりました。子どもたちは本当にいい話をするんですね。本当に、今から先、自分の未来、そして今まで経験したこと、そして大人に訴えたいことが本当すばらしく、子どもは子どもで緊張しながらも一生懸命、少年の主張をしておりますよ。本当にもったいないことだと思います。

そんなことがありますので、ぜひとも学校の先生方、育成協議会の方も大変お忙しいとは思いますが、未来の少年、宝物、子どもを育てるためにも、ぜひともいろいろな、今までもたくさん努力されているとは思いますが、今回、私がこういうことを言いましたので、再度、点検していただきまして、考えていただきたいなと思います。

思うのは、なぜ少年とかが傍聴者とかが少ないのか、理由を言っていただきたいと思いますが、どうでしょうか。なぜ、少ないのか。

私が質問状にもしていましたよね、そのように。現状を把握されているのか、把握されていたら、その対策を教えてくださいというような書き方をしておりましたが、何でこのように、巖原町の場合は大人のほうは本当後部座席が満席になるぐらいなんですよ、ここ二、三年。

各町のことはよくわかりませんが、この前、この質問を出したときに、教育委員会のほうに尋ねたところ、やはり悩んでおられました。だから、その対策ということはどのようにされますでしょうか、よろしく頼みます。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 参加人数が少ない原因と言われましても、そこは把握はしておりません。ただ、参加人数を増やしていくために、いろんな広報であるとか周知であるとか、各種団体へのお願いであるとか、そういうものをもっと広げてやっていかなければならないかなとは思いますが。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） その結果が現在じゃないでしょうか。だから、違う仕方をしないと増えないと思うんですが、私が思うのは、ネックになっているのは部活が1つはあるかだと思います。そういう声も聞きましたので、その日は部活があるけん行けんもんねとかいう声も聞きました。

それとまた、田舎のほうの方たちは足がありませんし、そういうことではスクールバスが通っておりますので、スクールバスの利用はできないものかなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） 少年の主張大会の開催日は2月の第3日曜日にしておりますので、これは全島、中学校の部活は休みの日です。だから、原因が部活であるというふうには捉えており



ません。

それから、足がないということですが、以前、旧町時代に上対馬町で、傍聴してくれる人を増やすために貸切バスを出したことがあるんですけども、ほとんど利用がなかったということがあっておりますので、しかも対馬市の大会となると、対馬市のどこからどういうルートでバスを出していいかというのも非常に難しい問題でありますし、前例的にそういう上対馬町時代の経緯もありますので、貸切バスについては今のところ考えておりません。

スクールバスの利用というふうにも提案がありましたけれども、スクールバスを利用するとしても、また別予算が必要になってまいりますので、スクールバスの利用はそこにはできないんじゃないかなというふうに考えております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 対馬島の大会もそうですけれども、私は思うのは、各町の大会が充実してくると、おのずから対馬市の大会にもそういう関心を持たれる方々がおいでになるんじゃないかなと思っております。今のところ、本当に各町のことも聞きましたけども、傍聴者が少ないそうです。だから、私が言うのは、各町の動員体制というのですか、そこ辺を重点的に今回はお願いしようかなと思っております。

もちろん、一般のバスを借りるとすごく高いですよ。それは十二分にわかっていますが、スクールバスを利用すればどうにかなるのかなと、甘い考えもありますけれども、そのようなことも考えてみました。

予算的にももちろんなりますけども、それはまた比田勝市長にぜひとも予算を、子どものためです、日本の宝物、対馬の宝物のための育成ですよ、ぜひともお願いしたいと思います。

そして、今までの発表者の県に行かれた方の地方大会の成績というんでしょうか、調べてみました。ことしは、29年度は久田中学校の大庭菜摘さん、「病気を支えるもの」、そしてもう一人は豊玉中学校の末松芽依さん、「人と人との交流」という形で参加されまして、優良賞ということでした。

28年度は、巖原中学校3年生の高崎樹さん、この人が長崎県PTA連合賞をいただいております。そして、27年度は、川辺、女の方です、巖原中学校です。「伝統の灯火が消える前に」ということを発表されました。私はこのとき聞いておりました。優秀賞で、ココロねっこ賞をいただいております。

25年度は勝見真生さん、雞知中学校の「わかってほしい」という題で、優秀賞（NHK賞）をいただいております。そして、23年度は安野匠さん、豊玉中学校、「大きな心で」という題で、やはりNHK賞をいただいております。

ちょっとさかのぼりますけれども、18年度は中山理成、巖原中学校の「人生はそこから」と

いう題で、最優秀賞（県民会議賞）をいただいて、九州大会へ行かれております。17年度も、阿比留幸樹、久田中学校で、テーマは「空の青さに命を思う」ということで、同じく県民会議賞をいただいて、九州大会に出ておられます。

かなりさかのぼります。9年には黒岩晃枝さんということで、巖原中学校の「幸せのかたち」ということで、やはりこの方も県民会議賞をいただいて、九州大会へ行かれております。

こんなふうで、子どもたちが本当いい発言をし、皆様から認められ、いい賞状をたくさんいただいておりますので、ぜひとも主張大会が活発になるように頑張ってもらいたいと思いますので、スクールバスが初めから蹴るんじゃなくして、試算でも出していただければ助かります。そしてまた、休部の関係もまた検討してください。よろしく願いいたします。

次は、金石川の清掃についてですけれども、ある日のことです。日本人の観光客の方が金石川を見て、この川は汚いねと、観光客同士で話をされていたそうです。その話を耳にした地域の人は恥ずかしくて、その場を早く逃げたくなったそうです。ごもっともなことだと思います。

万松院は歴代藩主の墓所であり、日本三大墓地の1つと言われております。また、万松院に行く途中に、金石城の櫓門があります。その先には、12歳で日本に連れてこられ、対馬宗家の当主と結婚した韓国最後の王女、徳恵姫の結婚記念碑があります。この記念碑は、そのとき在住されていた韓国人の方が建立された碑だそうです。ここには常に韓国の方の観光客がいっぱいでございます。

そういう歴史ある万松院通りといいましょうか、ここは対馬の中では一番の観光名所ではないかと思っております。万松院だけではなくて、常に観光地は整備して、観光客の方にはよいイメージを与えられるよう、心に残るおもてなしの心を常に忘れることなく、物事に対応していただきたいと思っております。

観光客の会話に対して、市長はどのように思われるでしょうか、一言お願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 観光客の方がどのような方か、私も想像が付きませんが、また別の方面から考えれば、そういったセキショウというのは清流にしかどっちかといったら生えないような植物でございます。それがどぶ川みたいなところであれば、これは言われても仕方がないんですけども、水がいつも出ているような、そういうきれいな川にしか生えないセキショウでありますので、これについては、ここにはセキショウがあって、きれいなところだねと言ってほしかったなというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 6番、吉見優子君。

○議員（6番 吉見 優子君） 草の名前を何とか言いましたね、セキショウという草の名前ですね。この草そのものを私は知りませんが、すごい繁殖ですよ。だから、その後からずっと

生えるから、また心ない人が物を投げる、そんなことが出てきます。

そして、答弁がありましたけども、残して少しとるということでしたけれども、少しとっても、繁殖力が大きいものですから、かなり多く根っこからとってほしいなと思っております。そうじゃないと、またすぐそのままですよ。

金石川は、万松院の裏にある山の沢から水が流れてきているんじゃないかなと言われておりますが、1年から2年前になりましたでしょうか、金石川にカモの親子が3匹か4匹、泳いでおりました。私もよくのぞいたものですが、ここは櫓門に行く橋の下でございます。今は、市役所から行ったら、島本橋に行く横の川ぶちを通るところにおるということで、私も見てみましたが、おりました。

なぜ、そこにおるのかと思いますと、上流は草が生え茂って、おれなくなったんじゃないかなとも思っておりますので、その点、また川の掃除をしていただきまして、観光客の方にもかわいいカモの親子が見られるようにしていただけたらと思います。

そして、川の流れと金石城の屏を眺めながら、本当文化ですから、観光客の方がいろいろな思いを馳せながら、万松院に向かわれることを願っておりますので、よろしく願いいたします。

それと、ちょっと時間がありますので、苦言を一言、二言、言わせてください。すみません、よろしく願います。

私は、6月の議会で、市民の皆様にご家庭の周りや道路の周り、草取りに御協力していただいて、住みよいまちづくりにしましょうやと、私、この場で立って、このごろは市民の皆様は議会をよく見てありますから、市民の皆様にごお願いするつもりで言いますと言って、お願いをしました。

そのときは、比田勝市長は「うん、うん」とうなずいておられました。記憶にあります。そんなことがありまして、それも私の議会だより「こだま」にも書いております。帰って見てもらえば、わかると思います。

それで、残念なことに、私が一生懸命言って、みんなで対馬をきれいにしましょうねと言ったのにもかかわらず、一番真っ先にこのことを実行しなくてはならない市役所周囲に草が生えております。残念でたまりません。この道は、いつも職員皆様、歩いて通られるところです。何で気がつかないのか、気がつかないはずはないと思います。本当に市民の皆様の手本にならなくてはならない市役所ですよ、市役所職員ですよ、残念ですね。

また、市役所を囲む万松院道路に行くところ、それとか市役所の前のところずっと、ほかのところの住民の方たちは常に草を取ってきれいにしております。一番よく市役所の草が目立ちます。ぜひとも、ここに鎮座されている行政の方々、今日帰られたら見てみてください。どこという場所は言いません。見てください。

それと、もう一つ、私たち議員といいましょうか、私も議員になったときに、既に何人かの方から要望とか苦情とか言ってこられました。私の性分としては、即決主義です。今できることは今しましよと、こういう気持ちでおりますので、即、私も市役所なり振興局にお願いに行きます。

そうしたら、何の音沙汰もありません。本当に審議されているのか、聞いてあるのか、言った身になってほしいと思いますし、だから中間報告でいいですよ。できないならできないし、こういうことで今頓挫しておりますとか、必ず中間報告をしていただきたいと思います。

そして、私も市民の方に、また報告もしなくてははいけません。市民の人は私を通じて行政のほうに言いますから、行政のほうと市民とはそういう信頼関係がなくなったら終わりですよ。市民の皆さんは自分が困っている、市も自分たちの生活をよくしようと思って、そういうことを私たち、ほかの議員さんたちも投げかけられるわけですから、ぜひとも信頼関係をなくさないように、中間報告でいいです。結果はどのようになろうともいいです。

だから、ほとんどが予算を伴うことが多いと思いますけれども、それは私たちもわかっていますから、こんなふうで予算が伴うので、次の議会にかけますとか、ちょっと待ってくれませんかとか、何でもいいです。何かの中間報告をしてください。よろしく願いいたします。

それとまた逆に、うれしいこともありました。私は初めてです。市役所の人1人、それと振興局の方1人、お願いしていた人の1人ずつですけど、中間報告がありまして、私は本当にうれしく思いました。初めてでしたから、その方に本当に感謝して、ありがとうちゅうて本当にお礼を言いましたよ。

こんなことが信頼関係につながりますから、ぜひともこれは市長、ほかの部課とかに伝えてください。そういうことのないように、ぜひとも信頼関係、市民と行政、信頼関係が一番だと思えますので、ぜひともよろしく願いしたいと思います。

時間も来ましたので、それに一言、市長、お願いいたします。

○議長（小川 廣康君） 時間が来ましたので、簡潔にお願いします。

○市長（比田勝尚喜君） しっかり受けました。私も帰り次第、また市役所周辺を自分の目で確認したいというふうに思っております。

そしてまた、要望等に対しての中間報告につきましては、再度、この議会が終わった日の部長会議等でも、皆さんにまた注意をしながら、各職員への周知を図りたいというふうに思っております。

そして、最後に、金石川の件につきましては、セキショウは中間付近、真ん中付近の分をきちんとそれは根っこから撤去して、水がきちっと流れるのがわかるようにしようということで、担当課のほうとは協議をしているところでございます。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 時間が来ました。簡潔にお願いします。

○議員（6番 吉見 優子君） 金石川の水の流れですけども、私は久田道なんですけど、女性部のほうに入っているんですけど、そこでEM菌だんごをつくりまして、金石川の水の流れを浄化しようねということで、毎月ずっとだんごを投下していたんですよ。4月ごろからやめました。水の流れもないし、草も生えているからということですので、その点もよろしく願いいたします。

これで終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで、吉見優子君の質問は終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩します。再開を2時10分からといたします。

午後1時52分休憩

午後2時07分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。5番、小島徳重君。

○議員（5番 小島 徳重君） 皆さん、こんにちは。5番議員、会派つしまの小島徳重でございます。

通告に従い質問に入りますが、8月20日に開催されました子ども議会での中学生の皆さんのはつらつとした議員ぶりに刺激を受けました。私の今回の質問も、総合計画のひとつづくり、対馬市教育振興基本計画の主要施策に特化して、子どもたちに関わる、あるいは人を育てることについての質問を行いたいと思います。

一部、子ども議会での質問とかぶっている面もありますけども、生徒さん方の熱き思いを受けて、私も密度の高い一般質問にしたいと思います。理事者におかれましても、心のこもった実効性のある答弁をお願いいたします。

今回は、2項目6点についてお尋ねいたします。

1項目めは、対馬市総合計画の進行管理についてお尋ねします。

1点目、地元3高校への入学者数300名を確保すること及び島外高校への流出率を平成32年度末に15%、37年度末に10%に抑えとの目標が、総合計画の挑戦1、ひとつづくりの主要施策に掲げられています。この施策を実現するための具体的な手だてについてお尋ねします。

2点目は、同じくひとつづくりの主要施策の中に、学校給食への地元産の食材の提供拡大が掲げ